

大阪南ロータリークラブ会報

第 782 号

2023 年 4 月



事務局 〒536-0011 大阪市浪速区難波中 1-12-5
難波室町ビル 8 階
例会日 毎週火曜日 午後 0 時 30 分
例会場 スイスホテル南海大阪 8 階
会長 澤村 剛士 幹事 栗原 大

第 4 回クラブフォーラム

社会奉仕部門

日 時 : 2023 年 3 月 14 日 (火)
午後 17 時 30 分登録、午後 17 時 50 分開会
場 所 : ホテルモントレグラスミア大阪
23 階「パティオリッチモンド」
浪速区湊町 1-2-3 ☎ (6645) 7111

討議部門 : 社会奉仕奉仕部門

形 式 : バズセッション

議 題 :

SDGs について、ロータリーとしてどのように関わることができるかを考えてください。

出席者 (敬称略 順不同) 46 名

◎テーブルマスター

A テーブル 澤村、中村、青山、上村、鈴木、植松

B テーブル ◎神藤、相川、藤井、長谷川孝、小畑、栗原、飯井

C テーブル ◎森、平田、城戸、岸上、大石、庄司

D テーブル ◎河野、樋口喜、金森、小林二、松林、高木、横山慶

E テーブル ◎由谷、伊倉、入江、木村、松山、寺川、谷村

F テーブル ◎石橋、原田、川谷、菰田、持松、下井、米田秀

G テーブル ◎山田、江頭、岩崎、木本、岡村、山本和



1、開会挨拶 : 澤村会長

皆様、例会に引き続きお疲れ様です。今回は第 4 回目という事で、残すところ後 1 回となりました。ロータリーでは DEI に対するコミットメントがキーとなっています。その中で昨年 11 月の国内社会奉仕事業では、ダイバーシティの実現という事でアートをテーマに障害を持たれた方が、健常者と同じステージで活躍して頂く事に取り組みました。良い事業になったと思っています。ご協力頂き

ました皆様に感謝申し上げます。また、今、ロータリーでは、持続可能性の追求が言われております。重点項目にも環境が追加されました。地球の問題に対してロータリーとして、どのように具体的に取り組んでいくかを考える必要があります。本日は、国内社会奉仕事業に具体性をどう持たせるかを議論して頂きたいと思っております。本日も楽しく議論ができればと思っておりますので、どうぞよろしくお願い致します。



2、初参加の新入会員紹介：

金森 充弘会員



3、テーブルマスター指名：栗原幹事



4、ゼネラルリーダー議題説明：

神藤国内社会奉仕委員長

今回のフォーラム議題「SDG s について、ロータリーとしてどのように関わることができるか考えてください」に関する説明の後、3月に持続可能な環境づくりに取り組む事業として、宍粟市で植林事業を実施する大阪南なみはやロータリー衛星クラブの谷村議長、本日の卓話をお願いいたします。



5、卓話：「SDG s とは」

大阪南なみはやロータリー衛星クラブ

谷村 一行議長

自己紹介の後、卓話に至った経緯、衛星クラブが実施する事業の紹介、SDG s の歴史、目的、必要性、日本での現状、ロータリーの重点分野や職業奉仕、国内社会奉仕との関連性など話がされた。



6、乾杯：鈴木 元会長

7、テーブルマスター報告（発表順の通り）

Bテーブル：神藤国内社会奉仕委員長

- 1、SDG s の各内容から自分達の事業を導くのではなく、今自分達が実施している事業が SDG s のどのような項目に当てはまるのかを考えてはどうか。そうすることで今の自分達の活動が、どのような方向性を向いているのかが客観的に見れるようになる。
- 2、ホームページや事業報告の際、上記内容をつけて発信することで、よりわかりやすく事業内容を発信できるのではないかな。
- 3、ロータリーが今どんな活動をしているのかを多くの人に理解してもらえることが、会員増強に繋がる。

このような形で、SDG s を活用していくことが肝要であるという結論になりました。テーブルの皆様からは、非常に活発で、ロータリーに対する愛情溢れた意見でたくさん学ばせていただき、大変勉強になりました。

また SDG s という言葉について、聞いたことがあっても、実際に自分達の行動に落とすようなディスカッションをあまりしたことがないことに気付かされ、大変良い機会になったと思います。

Cテーブル：森例会運営委員長

まずは開口一番、城戸元会長が今回の社会奉仕部門のフォーラム討議テーマについて「このテーマは、クラブフォーラムの議題として大変良い」と感想を述べられた。

そして SDG s のバッジは 17 色のデザインで、それが SDG s の 17 の目標を示している事を初めて知ることができた。

そのような基本のお話から始まり、今回、Cテーブルのメンバーは「SDG s」に関わりのあるお仕事をされている方が多く、特に環境問題では、「水」という資源の活用の仕方、さらに食品関係では「食品廃棄（食品ロス）」の事も時間を取って討議された。

特に「水」の活用では、世界でダム作りを促進している方のお話や「1 回のトイレの使用水が以前は 1 回あたり 15L だったのが、現在その半分（6～7L）の節減が出来ている。」というお話も聞かせて頂いた。

SDG s の持続可能な開発目標が 17 項目に渡ってあるが、もう少し絞り込んで、その考え方を小学生に対してどのように説明しているかについて書かれている記事があり、次のように紹介された。

1. 生活に困っている人への支援
2. 差別のない格差のない社会を作ること
3. 環境を大切にすること（地球環境、自然環境に配慮する）

以上、3点にSDGsの目標を絞り込めば、少しわかりやすくなると思われる。

このような明確なSDGsの目標に対して我々ロータリアンが、どのように個人または組織として関わっていくかを今後も引き続き考えて行きたい。



Dテーブル：河野会員友好委員

- ・谷村議長のキーノートスピーチにもあった様にロータリーの7つの重点分野がSDGsの何処かに絡んでいるので、今の活動をしっかりと続けて行く事が王道である。
- ・特に今年の70周年記念事業としてグローバル補助金の認可が下りているカンボジアでの妊婦さんの健康管理を専門家に現地派遣をしてカンボジアのドクターに対して指導していく活動。
- ・同じくグローバル補助金申請中で認可が下りればRACとしては日本初となるカンボジアでの手洗いや衛生に関する知識を指導する活動を行う。これは澤村会長のご息が中心となっている。

活動で親子共演という意味でも注目に値する。

- ・節水、節電シールを作成して自宅の蛇口やスイッチの横に貼る事で子供への啓蒙を図った事があるが、これをロータリーでも実践すればどうか。
- ・昔はご飯を食べた後にお茶碗にお茶を入れて米粒を残さずに食べるように躰けられた。昨今はテーブルマナーとしてはどうかという意見もあるが、“もったいない”という根っこの部分を再教育していくことが重要ではないか。この辺りをRACと一緒に活動できれば尚良い。
- ・ニューヨークでは残ったものは持って帰るという文化があり、沖縄でも影響があるのか普通に行われている。保健所や衛生面の問題もあるが三分の一の廃棄を無くす活動をロータリーとして取り組んだらどうか。
- ・SDGs 5番のジェンダーフリーで言うと女性会員を増やす事が最も近道で、大阪南RCは優位性があるのでそちらでも貢献ができる。



Eテーブル：由谷国際交流委員

大切なことはSDGsの趣旨をまず理解してから変えていくべきではないか。というのも、少し前までは紙を減らせ、ペーパーレス社会

だとか割り箸を使うなど言われたが、今はコーヒーショップでもストローを紙に変えられてまずいコーヒーを飲まされて、買い物に行くときにはビニール袋を持って行かされて、結局時流によってさまざまな我慢を強いられてきた。

プラスチックも燃焼させると大きな熱量を生むのでゴミの燃焼には少なからずとも必要という話もあって、結局は紙もプラスチックもリサイクルして循環型社会を目指すべきではないのか。

さらに石油を減らしたからと言って本当に温暖化が止まるのかそもそも疑問である。オランダを初め海面上昇が死活問題のヨーロッパなどと異なり、日本では防災意識は高いが温暖化に対しての意識がヨーロッパに比べて低いのではないか。つまり我ことであるかないかの問題。

とは言えロータリーが今まで取り組んできたことはSDG sに関わることが多い。他のクラブでは各委員会の活動がSDG sのどの項目に当てはまるかをホームページに明記しているクラブもある。結局今行っていることを継続することがSDG sにとって大切であるとまとまりました。



Fテーブル：石橋国内社会奉仕委員

1. ロータリアンとしてSDG sの意識を持って従来の活動に取り組む
2. ロータリーとして環境の保護にフォーカスした事業に取り組む
3. SDG sとウクライナ戦争の矛盾。戦争が始まればSDG sなんてかまっていられない。
4. 食品の賞味期限とSDG sの関係。もったいないの心はSDG sに合致する。食品ロス、SDG sにはならない。
5. 日本の農業、漁業とSDG sの関係。既得権者、農協、漁協とSDG sはどんな関係にあるか。
6. 目の前のお料理を美味しくいただくのはSDG sとしては正しい。



Gテーブル：山田ローターアクト委員

我々のテーブルは60sの山本さん岡村さん木本さん岩崎さん30sの江頭さん山田で議論いたしました。

まず、SDG sの基本は、人と地球環境をより良くするためにありますが、人の暮らしが便利になり幸せになると相反して地球環境に影響がある可能性があるため、そのバランスを取らなければならないと思います。バランス取りをどのように解決するのがロータリーの役割であり、それがロータリーの7つの重点項目にもつながるのではと考えます。

また、日本においては江戸時代の暮らしは完全な自給自足などに賄われており、究極のSDGsが実践されていたが、現代は経済を中心とした活動になってきて人も地球環境も負担を強いられる中で、いかに前の時代のように活動できるようになるかがキーだと感じます。

最後に、山本ガバナー年度の時、各クラブに訪問した際に、改めて大阪南RCはアットホームな感じがして居心地が良いという意見もあり、これはまさにクラブ内においてSDGsが実践されているなど実感しましたし、だからこそ180名のも会員が在籍しているのだなと感じました。



7、ゼネラルリーダー講評：

植松社会奉仕担当理事

本日は、各テーブルで活発なご議論を頂き、ありがとうございました。今年度は、神藤委員長を中心とした国内社会奉仕委員会のお陰で素晴らしい社会奉仕事業が出来ました。本日のフォーラムに関してもご尽力頂きました。只今のテーブルマスターの皆様からのご報告は、後日、改めて会報で確認させて頂き、ゆっくりと検証していきたいと考えております。本日はお疲れ様でした。



8、閉会挨拶：青山副会長

本日は、次年度理事会、例会に続きフォーラムと終日ロータリーにご参加頂き、ありがとうございます。本日のテーマであるSDGsは、世界標準の永遠の課題であります。このフォーラムは、貴重な議論の場と機会になったと思います。本年度の大阪南RCの国内社会奉仕事業もSDGsを意識した良い事業であったと思っております。

私自身の仕事でもSDGsと食品ロスの問題が課題となっています。今後、ロータリーの会合等での食品ロスの問題なども検討していく必要があると思っております。それらSDGsを意識した課題は、次年度中村年度への宿題としたいと思っております。本日は、お疲れ様でした。

(文責：副幹事 山本 和良)

大阪南ロータリークラブ 70 周年記念事業 「大阪南なみはやロータリー衛星クラブの森」 早生樹センダン植樹会

大阪南なみはやロータリー衛星クラブ議長 谷村 一行

大阪南なみはやロータリー衛星クラブ（以下、大阪南なみはやRSC）は、大阪南ロータリークラブ70周年記念事業として2023年3月25日（土）に兵庫県宍粟市一宮町百千家満（オチヤマ）の耕作放棄地約0.3haに140本の早生樹（センダン）の苗を植える事業を行いました。当日は悪天候の心配も有りましたが、天候に恵まれ植林を無事終えることが出来ました。

この度の事業は地元の自治会＝百千家満里山（振り仮名：おちやまさとやま 以下、地元グループ）が行う植林を大阪南なみはやRSCと大阪南ロータリークラブ（以下、大阪南RC）が支援する体制で執り行いました。

主催者の地元グループには農村環境に悪影響を与えている耕作放棄地の再生と短伐期の早生樹植林による地元の林業と関連産業の活性化を図る目的があり、ロータリークラブ側には新しい重点項目の環境の保護に関する取り組みを始める、SDGsの推進に特化した事業を始めるといった2つの目的がありました。まず準備として、早い段階で共通の目的を設定し役割分担を決め、植林実行までの打ち合わせをスムーズに行えるように工夫しました。

（三者共通の目的）

- ・三者は当該事業の植林から製材（製品）化までの全期間を通じて交流を図り、親睦を深め、お互いの目的の達成の為に協力をする。
- ・SDGsの概念に則り持続可能な里山地域の産業発展、森林の管理、カーボンニュートラルに貢献する。
- ・本事業を通じて里山地域と都市部の継続的な交流を図る。



当日は難波駅からバスで出発し、道中は参加されたインターアクトの学生の皆様ともレクリエーションを楽しみながら現地に向かいました。現地に到着し昼食の後、開会式を常楽寺の講堂にて行いました。

開会式には地元宍粟市の市長、市議会議員、近畿中国森林管理局からは兵庫森林管理署長もご参加いただきました。市長からは祝辞もいただき、地元からも期待されている事業であると再確認致しました。

式典の後には、京都大学の村田先生より早生樹植林のこれまでの経緯、将来への有効性、カーボンニュートラルについてなどを講話いただき、皆で早生樹の植林について勉強しました。



その後、植林の現場に移動し京都大学、京都府立大学の先生方、地元グループの方々から植林方法のレクチャーを受け、皆で汗をかきながら楽しく植林に励みました。

地元グループの皆様が入念な準備をさせていただいたおかげで、スムーズに作業が出来ました。

植林終了後、現地を出発し地元の道の駅に寄り、お土産を購入するなど充実した帰路となりました。





この度の植林事業は約1年前より準備を行ってきました。地元の皆様、宍粟市の議会の皆様、近畿中国森林管理局の皆様、早生植林材研究会の皆様、大学の先生方、大阪南RCの皆様、大阪南なみはやRSCの仲間には本当に多大なご協力をいただき感謝申し上げます。

また当日はローターアクト、インターアクトの皆様にも参加いただき幅広い世代で植林を行いました。

おかげさまで産・官・学・地元地域が協力して築き上げた素晴らしい事業として、一段落つくことが出来ました。しかしながら植林事業は植えたところからが始まりであり、完了までは長い年月を要する継続事業であると考えております。

引き続き植林後の森の管理、地元の皆様との交流を続けていくと共に、今回の経験を活かして更なるSDGsの推進を図る奉仕事業を計画していきたいと存じます。

～興国高校 IAC クラブ参加者感想文～

今回の植林会に行き、植樹の重要性や歴史について学べたので、とても良かったです。特に早生樹を将来、宇宙にも活用される研究が行われているというお話はとても興味深かったです。

木を植えるという体験は今まで無く、今SDGsに向けた活動として自分ができる簡単な事を見つけ取り組もうと思いました。

高校3年 田中 健心

植林体験を経て、最初は70周年を祝うためだけに植林をするのかと思っていましたが、植林をする理由や植林した木はどうなっていくのかなどがわかりました。

また、大阪南ロータリークラブの人達も優しかったので、とても有意義な時間を過ごせました。本当にありがとうございました。

高校3年 高田 統

～清風学園 IAC クラブ参加者感想文～

植樹体験があると聞き、興味があったので参加させていただきました。まず、参加費用の負担をしていただいた大阪南ロータリークラブの皆さまありがとうございました。おかげで貴重な体験をすることが出来ました。

バスに乗って自己紹介をしている時に様々な職業の方が参加しているのだと改めて気づかされました。そのような方々と交流出来た事が、とても嬉しいです。

植樹体験も初めは正直なめていました。穴が既に掘られていると聞いた時、余裕だと思っていました。しかし、土をかけて植えるだけでもとても疲れました。穴を掘って用意して下さった方々の事を考えると頭が下がります。このような事を行っている方々のおかげで社会は回っているのです。この体験を忘れず常に頭の片隅においておきたいです。

また、自分たちが植えた苗もすくすく成長して何かに役立てたらとても嬉しいです。

高校2年 安里 長維

私は、今回清風学園インターアクトクラブの部員としてロータリークラブの方々や他校のインターアクトクラブの方々と植樹をした。最近よくテレビで「SDG s」という言葉を耳にする。

「SDG s」とは、国連が採択した2030年までに達成すべき17の目標であり、様々な分野の目標が含まれている。そして今回、この植樹も一部「SDG s」に貢献しているという。植樹をすると生態系が保全されたり、地球温暖化が緩和されたりと様々な点でSDG sの目標に対して貢献している。今回植樹してみて思ったのが、このSDG sを達成するにはかなりの労力がいると思った。テレビでよく言って呼びかけるのは確かに良い事だ。大きな事ではなくまずは自分の周りから始めるのも良いだろう。

しかし、今回のような植樹に関して言うと、木が育つまでの時間や木の管理などを考えてみるとかなりの時間と労力そして費用がかかりそうだ。そんなことをテレビで軽く言ってもいいものかといざ自分がやってみてそう感じた。植樹をする前は「世界中協力したらすぐに達成出来る。」と思っていたのだが、自分でSDG sの一部を行ってみると「大変だなあ」と新しい気づきを得られた。もちろん植樹だけではない。他の目標に関して簡単に始めたり、行動出来たり、しないこともあるだろう。私がこの植樹を通してSDG sに対して思ったことは、「SDG s」はテレビや企業がいうようにすぐ出来る事、簡単な事だけではなく、様々な点で大変な作業をしないといけないこともあるので世界中の人々が一致団結して自分だけでなく後世の人々も過ごしやすい世界にする為に、地球に小さな事から大きな事まで変えていかなければならない重要な事であるという事だ。

高校2年 福田 敦

学校の行事で森林の間伐をした事があり、その時は、木を一本切り倒すことに大変な思いをした記憶がなかったのが、今回の植林もそこまで大変なことはないだろうと思っていましたが、予想していた何倍も重労働だったので驚きました。何本かは枯れてしまうとお聞きしたので、自分の植えた苗が枯れることなく無事に育ってほしいです。また、講演のお話で木造の宇宙ステーション製作や宇宙での木材利用の研究は興味をそそられ、楽しかったです。

高校2年 福井 大貴

今回の課外授業は私がインターアクト部で初の活動であり、植林というもの、人生初の体験であった。今回は大阪南ロータリークラブの70周年記念事業であったが、閉会式での澤村会長がおっしゃる通り、「植林というものは短期事業では意味を果たさぬもので有り、継続してこそ環境問題改善に貢献するもので有る。記念事業では終わらせずに、来年度に続く活動にしたい。」という会長の御言葉には感銘を受けた。実際に、活動を体験して感じた事は苗を1本植えるだけでも相当大変であったという事である。説明を受けている時は、「2本の苗を植えるだけ」と想像していたが、活動内容を回想しながら感想文を記していると、「2本も苗を植えた」と記すべきであろうと思う程のものであった。今回の課外活動で学んだ事は、物事に対する自分の行動力を過信し過ぎてはいけないという事である。やはり行動に移して実際に自分で体験してみなければ、何事も苦勞を理解する事が出来ないだろうと身に染みて感じた。

高校2年 木下 和也

今回参加して楽しかったです。おじさん達も優しく、とても良い経験になりました。
料理も美味しかったです。又行きたいです。

高校2年 人見 翔真

私は、初めて植林体験をした。今回の目的は、手入れが出来なくなった畑や山に人の手で早生樹を植えていくこと。それによってSDGsに貢献することが目的だった。なぜ早生樹がSDGsに貢献するのか、早生樹がどのようなものなのか、何も分かりません。そのような中で一番印象に残ったのが、家具に例えた早生樹の役割でした。早生樹は通常の木が50年かけて成長するのに対して、20年ほどで同じくらいに成長する。そして家具には木が必要だ。早生樹であれば半分以下の20年ほどで、成長してくれる。サイクルが早い分、経済効果が高く、炭素の減少にもつながる。今回の植林事業を通じて、植物と動物はそれぞれにとって欠かすことの出来ない地球の共存者であること。それをすごく理解することが出来た体験となった。

高校3年 小池 祐太郎

今回の植林はとても貴重な体験でした。植林は名前を聞いた事はあったけれど具体的な事はあまり知りませんでした。今回の植林で国によって違った木を植えており、その中でも地域の風土によって異なり、植えた木の使用目的も様々あり、育った跡の使い道も様々であり、制約もあることを知りました。植林は木を植えるだけで簡単だと思っていたら意外にも手間がかかることだと思いました。木は勝手に育つものだと思っていたら見た目と違いデリケートな植物だと感じました。人間が排出した二酸化炭素を減らすのは沢山の時間と根気が必要だと思いました。

高校2年 森 弘謙

今回の行事に参加した時、インターアクト部に入って初の行事でどんな事をするのかと緊張していましたが、参加してみるととても楽しかったです。

植林に関する知識があまり無くてどのように対応すればいいのかと心配していましたが、とてもわかりやすい説明で活動が出来て良かったです。また困っている時には、ロータリークラブの方から優しくアドバイスただけて嬉しかったです。初めての植林だったので、結構梃子摺ってしまい時間がギリギリで植え終わったので今後はもっと上手になりたいです。次も機会があったら参加したいです。

中学2年 仲西 春翔

私は、今回の植林体験活動で初めて木を植えました。まず私は植樹場所が荒廃農地であることに驚きました。「荒廃農地」という言葉に馴染みが無い為、珍しい所だと思っていましたが、実際は推定45万haあると知り仰天しました。

次に植樹についてです。私が驚いたのは2つあります。

1つ目は、植樹のいくつかは育たず枯れてしまう木もあるという事です。私は木を植えると必ず育つと思っていたので、この世界で生きていくのはそう甘くないと思いました。

2つ目は、早生樹についてです。私のイメージでは木は、何百年単位で育っていくものだと思っていました。今回植えた早生樹は、予想以上に成長が早い事に驚きました。また、何故早く育つのかなどの木の仕組みについても興味をもちました。

最後に、このような会を開催下さったすべての方々に感謝申し上げます。

高校2年 寺澤 佑真

3月定例理事会

協議事項

1. 職場見学会について
2. マスクについて

審議事項

1. 退会届の件
2. 新入会員候補者の件
3. 第5回クラブフォーラム（青少年奉仕）について
4. 2022-23年度大阪南なみはやロータリー衛星クラブ中間決算の件

報告連絡事項

1. 台北中央 RC 来阪について
2. 春の家族会の件
3. 次年度正副委員長研修セミナー開催の件
4. 第3回クラブアセンブリー開催の件
5. 2022-23年度ローターアクトクラブ中間決算の件
6. メルボルン国際大会について
7. 南北交流懇親会収支について
8. ニコニコの件
9. 大阪南なみはやロータリー衛星クラブ植林事業について
10. その他

ニコニコ箱へ

- 相川 恭広 会員から ・無事誕生日を迎える事が出来ました。また1年ロータリー頑張ります。
- 天野 直樹 会員から ・先週の麻雀同好会、またまた優勝しましたので、ニコニコします。まだまだ挽回していませんが。
- 青山総一郎 会員から ・4月1日に開催しました春の家族会に多数の皆様にご参加頂きまして、ありがとうございました。井原委員長・米田副委員長をはじめとします会員友好委員会の皆様にはお世話になりました。おかげさまで、晴天・満開でした。
- 福本 桂太 会員から ・皆勤賞をいただきました。ニコニコします。
- 長谷川 孝 会員から ・先週の卓話をお聞き頂きありがとうございました。数人からお褒めの言葉をかけて頂きホッとしました。本日例会に出られませんが、ニコニコさせていただきます。
- 井原 基博 会員から ・春の家族会、海津大崎桜クルーズに多数ご参加いただきましてありがとうございます。皆さまのご協力もあり、快晴の空の下で、満開の桜を楽しむ事が、出来ました。
- 入江 義雄 会員から ・長谷川さんと同じく戦時中の空襲を体験した一人として、今日の卓話を期待しております。ただ、お若い方々にとって、絵空事（えそらごと）として聞こえないように…。
- 岩谷佳也子 会員から ・先日は、結婚記念日の御祝の品を頂きありがとうございました。
- 金森 充弘 会員から ・3月11日に初孫が誕生しました。可愛くてたまりません。
- 川田 貴亮 会員から ・先日の台北中央 RC のお迎えにご協力ありがとうございました。2次会余剰金をニコニコさせていただきます。
- 木村 芳樹 会員から ・先週金曜日朝、母マサコが97歳で天寿を全うし、昨日告別式を執り行いました。早石先生には、最後までお世話いただきありがとうございました。
- 河野 修 会員から ・先週の例会で、チェコの美人女性の名前に気を取られ、なみはや衛星クラブの谷村議長の紹介を忘れてしまいました。
- 草島 葉子 会員から ・関西オープンOB 蟬川泰果優勝させていただきありがとうございました!! もう一件、卓話の浅羽さん! 頑張ってくださいませ!
- 森 光三 会員から ・WBC 日本世界 NO1 おめでとう!! 村上様が、やっと打ってくれました!!バンザーイ!!

- 大熊 直子 会員から ・皆勤賞のお祝いの品ありがとうございました。
- 奥村 安正 会員から ・本日ご入会の齊藤伸一さんをどうぞよろしくお願ひします。
- 奥長 浩一 会員から ・誕生日ありがとうございました。
- 酒井 康生 会員から ・妻の誕生日の御祝ありがとうございました。
- 澤村 剛士 会員から ・70周年記念植樹では、なみはやロータリー衛星クラブの皆さん、また、松山理事、青少年奉仕委員会の新田委員長はじめ、委員会の皆様は心より御礼申し上げます。RAC、IACと一緒にすることで、周年にふさわしい事業になり感謝しております。ありがとうございました。
- ・台北中央 RC の来阪に際し、横山理事、川田委員長をはじめとする国際交流委員会の皆様には、度重なる変更にも臨機応変に対応いただき、台北の皆様にもとても喜んでいただけたことと思ひます。本当にお世話になりありがとうございました。
- ・4月1日春の家族会では、ご参加いただいた皆さま、またお世話になりました。井原委員長はじめ会員友好委員会の皆様、ありがとうございました。満開の桜と、船での遊覧、春の琵琶湖を堪能できました。
- ・南北歌唱大会、お約束通り優勝、パンザーイ!! 皆様の美声に酔いしれる楽しいひと時でした。歌唱同好会の皆様、お世話になりありがとうございました。
- ・本日入会の吉田さんをよろしくお願ひします。
- 新開 隆浩 会員から ・川田委員長はじめ国際交流委員会の皆様、台北中央 RC のアテンドお疲れ様でした。
- ・父親のお別れ会に多数ご参加いただきありがとうございました。お陰様で盛大に送ることができました。
- 篠原 準治 会員から ・今日の長谷川会員の卓話によせてニコニコいたします。
- 庄司 茂 会員から ・春の家族会で井原委員長他会員友好委員会の方にお世話になり、ありがとうございました。満開の桜で目の保養させて頂きました。
- ・本日入会の橋本匡弘さんをよろしくお願ひいたします。
- 末澤 市子 会員から ・SAA にもかわらず連続の欠席しましたこと、お詫び申し上げます。先日 2/25、米山奨学生卒業式に伺って参りました。その折に感謝状をいただいたのでニコニコをします。
- ・実家の末澤産業に専念することになりました。早速、今週土曜日深夜1時28分からの MBS 4 チャンネル『関西ジャニ博』に弊社のビルが紹介されることになりました。編集カットされてなければジャニーズジュニア A えグループと一緒に私も映ってると思ひます。デレデレしているのでニコニコします。
- 高山 俊三 会員から ・妻の誕生祝ありがとうございました。
- 武田 太郎 会員から ・テーブル懇親会欠席のお詫び。
- ・ちょっといい事がありまして。
- 上田 豊 会員から ・大変良い事が続きまして…。
- 上村 豊 会員から ・参加された皆さんお疲れ様でした。ありがとうございました。スコープとクワによる 70 周年記念事業植樹会が出来て良かったです。腰にきました。

・満開の海津大崎へのお花見クルージング最高でした！井原委員長はじめ会員
友好委員会の皆様お疲れ様でした。ありがとうございました。「愛」の
コリーダ、満喫しました!!

渡津 弘己 会員から ・本日入会の齊藤伸一さんをよろしくお祈いします。

横尾 国治 会員から ・3/25の植樹会には遠路の参加ありがとうございました。参加された方は、ヒル
の被害は無かったでしょうか。

山本 博史 会員から ・横山理事、川田委員長はじめ皆様、台北中央 RC のお世話お疲れ様でした。

山本 和良 会員から ・4月9日に長男紋寛が結婚式を挙げました。RACや色々な機会でお世話に
なった皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。

本年度目標額 530万 4月 18日現在 累計 4,515,086円